

佐藤栄佐久さん挨拶

知り合いの自由民権運動研究家が、私に送ってくれたこの竹製のペンに、田中正造の言葉が書いてあります。「真の文明は、人を殺さず、川を荒らさず、村を破らず、人を殺さざるべし」と。

飯舘村は、平成の大合併の時に、合併しないで良かったと思います。若妻のつばさ、俳句の村づくりなど、菅野典雄村長の努力もあり、独特の村づくりを行ってきたのです。私が飯舘村に行った時のこの写真のように、数十秒で村が雲に覆われ真っ白な湖のようになる山勢に襲われル厳しい気候の地で、村民は大変な苦勞をして村づくりを行ってきました。国会議事堂の石や木は、飯舘村のものが使われているのです。

福島原発事故のメディアの報道もひどかったのですが、これは文明・文化のあり方が問われている問題なのです。ドイツのメンケル首相なども、原発をやめる決意を表明しているような時に、原発輸出や再稼働などを推進するなどは、日本の文明・文化の問題としても遺憾なことだと思います。

災害にあった山古志村や三宅島も、人口が4割減になったと聞きます。村が消滅してしまうような大きな危機の中で、今後住める場所に住む決意で、新生ふくしまを作るために、いずれ皆で帰りたいと思います。